

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	文化学園大学保育専門学校
設置者名	学校法人文化長野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育社会福祉専門課程	保育科	夜・通信	26単位	6単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/school_attendance/subject/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	文化学園大学保育専門学校
設置者名	学校法人文化長野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/school_attendance/list/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	学校法人理事長 大学学長	令和 4.12.15 ～令和 7 年度 定時評議員会 の終結の時ま で	学校運営に関する 指導・助言
常勤	大学教授 大学学部長	令和 3.7.1～ 令和 7 年度定 時評議員会 の終結の時ま で	学校運営に関する 指導・助言
常勤	大学教授	令和 3.7.1～ 令和 7 年度定 時評議員会 の終結の時ま で	学校運営に関する 指導・助言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	文化学園大学保育専門学校
設置者名	学校法人文化長野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画（シラバス）の作成過程 ① 前年度 教育課程（カリキュラム）の見直し ② 前年度 1 2 月 授業依頼 ③ 前年度 2 月 授業計画（シラバス）の提出 ④ 前年度 3 月 教授会にて承認 ⑤ 当年度 4 月 ホームページにて公表 冊子にして該当者（学生・保護者）に配布	
授業計画書の公表方法	https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/study/ 授業開始前の配布（年度当初 4 月） https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/study/curriculum/ 実務経験者の授業一覧

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則第27条にしたがい履修した科目の単位認定を行う。 年度末の教授会において単位認定の判定会議を実施。 参考1 (学習評価) 第27条 履修した授業科目の単位認定は、試験等により行う。ただし、各科目の出席時間数が学則に定める時間数の3分の2に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。実習については、同じく5分の4に満たない者については履修の認定をしない。 2 試験等による評価・成績は、優(80点以上)、良(70点以上)、可(60点以上)及び不可(59点以下)とし、不可の場合は単位不認定とする。 3 単位不認定となった科目については、本人の申請により追・再試験を行うことができる。 4 追・再試験に関する事項は、別に定める。 参考2 平均成績について それぞれの評価について下記のように得点化し合計点数により成績順位の算出を行う。 優＝3点 良＝2点 可＝1点 不可＝0点 各学生の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳正かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修する科目すべて(58科目)について成績評価をし、それぞれの評価について下記のように得点化し、全科目の合計点により成績の順位を算出する。 評価の得点について それぞれの評価について下記のように得点化し合計点数により成績順位の算出を行う。 優＝3点 良＝2点 可＝1点 不可＝0点 算出式 優3点×履修科目数＋良2点×履修科目数＋可1点×履修科目数＝総得点 あらかじめ設定した指標により成績評価を適正に算出している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/school_attendance/certification/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 下記の「ディプロマ・ポリシー」に従い本校で2年間幼児教育の専門分野を学び、所定の単位(62単位)を修得した者を卒業と認定する。 ディプロマ・ポリシー(卒業認定および専門士授与方針) 学則第5条に示す卒業要件を充たし、以下に示す力を身につけていると判断された学生に、専門士の称号を授与する。 1 保育に関する深い専門的知識と技能を修得し、実践の場で活用する力を身につけている。 2 多様な文化や価値観を理解し、多角的な視点から物事を捉える寛容性を身につけている。 3 情報を客観的に分析し、論理的な思考をすることにより、保育に関する問題解決能力を身につけている。 4 保育者の役割を理解し、責任感と協働性を持って社会に貢献する力を身につけている。 卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえて卒業を認定している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/school_attendance/certification/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	文化学園大学保育専門学校
設置者名	学校法人文化長野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm
収支計算書又は損益計算書	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm
財産目録	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm
事業報告書	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm
監事による監査報告（書）	http://www.gakuen-nagano.ac.jp/financial/index.htm

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	保育科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2, 340 単位時間／ 93 単位	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼		660 単位 時間/ 44 単位	1050 単位 時間/ 35 単位	585 単位 時間/ 13 単位	0 単位時 間/0 単位	45 単位時 間/1 単位	
		2, 340 単位時間／93 単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
100 人		51 人	0 人	9 人	19 人		28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程 ① 前年度 教育課程（カリキュラム）の見直し ② 前年度 12月 授業依頼 ③ 前年度 2月 授業計画（シラバス）の提出 ④ 前年度 3月 教授会にて承認 ⑤ 当年度 4月 ホームページにて公表 冊子にして該当者（学生・保護者）に配布 授業方法及び内容、年間の授業計画はシラバスに沿って実施する。	

成績評価の基準・方法
(概要) 履修する科目すべて（５８科目）について成績評価をし、それぞれの評価について下記のように得点化し、全科目の合計点により成績の順位を算出する。 評価の得点について それぞれの評価について下記のように得点化し合計点数により成績順位の算出を行う。 優＝３点 良＝２点 可＝１点 不可＝０点
卒業・進級の認定基準
(概要) 下記の「ディプロマ・ポリシー」に従い本校で２年間幼児教育の専門分野を学び、所定の単位（６２単位）を修得した者を卒業と認定する。 ディプロマ・ポリシー（卒業認定および専門士授与方針） 学則第５条に示す卒業要件を充たし、以下に示す力を身につけていると判断された学生に、専門士の称号を授与する。 １ 保育に関する深い専門的知識と技能を修得し、実践の場で活用する力を身につけている。 ２ 多様な文化や価値観を理解し、多角的な視点から物事を捉える寛容性を身につけている。 ３ 情報を客観的に分析し、論理的な思考をすることにより、保育に関する問題解決能力を身につけている。 ４ 保育者の役割を理解し、責任感と協働性を持って社会に貢献する力を身につけている。 卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえて卒業を認定している。
学修支援等
(概要) 専任教員による個別の支援を実施 https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/support/consultation/

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17 人 (100%)	人 (%)	16 人 (94%)	1 人 (6%)
(主な就職、業界等) 保育園・幼稚園・認定こども園・児童養護施設			
(就職指導内容) 求人票の開示 就職先希望を調査し、当該学生への事前指導など個別に対応			

(主な学修成果(資格・検定等)) 幼稚園教諭二種免許 保育士資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	2 人	4%
(中途退学の主な理由) 本人都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席等の状況を把握し、個別面談などを通じて学習意欲の高揚と維持に努める		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
保育科	200,000 円	600,000 円	370,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://bga.gakuen-nagano.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
評価項目 教育課程の見直しについて 就職状況について 学校生活全般について など 構成 委員の定数 5 名 選出区分 在校生保護者代表 卒業生代表 中学校・高等学校代表 幼稚園代表 保育園代表 活用方法 評価結果をもとに定例委員会の開催において改善方策を検討する 責任者 学校長、主任教授		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
後援会	令和 7. 4. 1～ 令和 8. 3. 31	保護者代表
飛翔会	令和 7. 4. 1～ 令和 9. 3. 31	同窓生代表
中学・高等学校	令和 7. 4. 1～ 令和 9. 3. 31	中学・高等学校長代表
幼稚園	令和 7. 4. 1～ 令和 9. 3. 31	幼稚園代表
保育園	欠員	保育園代表

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://bga.gakuen-nagano.ac.jp
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://bga.gakuen-nagano.ac.jp
--